

わたしたちの町

人口(男).....4,485人  
(女).....4,824人  
計.....9,309人  
1月中の転入.....6人  
転出.....13人  
世帯数 2,307世帯

(1月末日住民登録人口調べ)

広報

あいかわ

昭和61年(1986年)2月21日 第334号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186-78-2111

今月の紙面から

- 2面 青年婦人議会
- 3面 広域地域開発集会・農政講演会
- 4面 川井女子体協つな引 全県優勝

'86年/2月 334号



雪を克服—みんなの力で

大野台の里でも排雪奉仕

町豪雪対策本部を設置

町では一月二十七日、合川町豪雪対策本部を役場内に設置しました。町内の積雪は一昨年から一昨二十センチ以上に達しているものと見られ、当面する除排雪対策とともに交通事故や融雪災害などが心配されています。

こうした中、総合福祉施設「大野台の里」の園生、職員百余名が、町建設業協会と共同で老人世帯などの排雪作業を行いました。「自分たちでできる奉仕活動をしよう」と排雪奉仕は五年目。町社会福祉協議会の点検名簿によつて五日間にわたつて町内全域を訪問。人手のかかる作業と、機械力を組み合わせて、手ぎわの良い作業ぶりは、関係者からたいへん感謝されています。

三年続きの積雪

住み良い環境のモデル的施設

三木田地区 集落排水事業の竣工祝う

三木田地区農業集落排水施設の竣工式が、一月二十一日、町農村環境改善センターで開かれました。同施設は町が農村総合整備モデル事業の中で計画し、昭和五十九、六十年の二カ年で完成。これによつて三木田地区は全世帯、事業所等の生活雑排水が完全に衛生処理されることとなります。

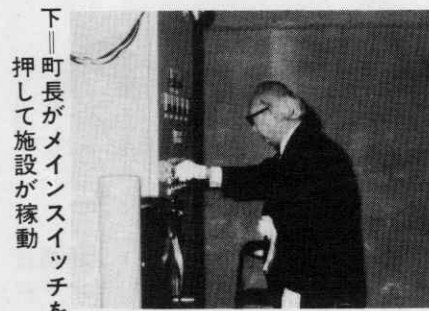
全世帯を 水洗トイレ化

三木田地区は戸数七十九戸周囲を田畑に囲まれた純農村の風景をみせていますが、職業が多様化し、住宅構造の近代化が進んでおり、衛生的な生活環境の整備が求められてきました。こうした中で、悪臭や病害虫の発生源になる生活排水の不衛生な処理を、地域ぐるみで解消しようとの要望から、集落排水施設の設置が計画されたものです。家庭の雑排水は、ほとんどが農業用排水路に流れ込んでおり、衛生面と農産物への影響などが指摘されていました。

昭和五十八年度に集落排水施設の調査に着手し、五十九、六十年の二カ年の町工事費は一億三千六百三十九万五千円。関連する宅地内工事について



上 集落内の家庭排水は処理施設に集められ衛生処理。



下 町長がメインスイッチを押して施設稼働

は、集落内で計画的にすすめられ、集落全域の生活雑排水の処理システムが完成しました。事業の対象は三木田部落全世帯員と小学校・保育園・事業所。各戸からの排水は末端処理場に流され、総管延長が千六百五十七メートル。処理場は集落東端に建設され、接触ばつ気方式」という最新技術の処理方式が導入されています。

二十六日の竣工式では、町関係者のほか部落各世帯から参加。主要施設の見学の後、参加者の見守るなか、町長がメインスイッチを押して、排水施設が稼働すると、大きな拍手がわいていました。

農村集落での集落排水施設は県内で二番目。衛生面での「モデル」的な田園集落の完成を祝いました。

町長日記から

一月二十六日、日曜日。二、三の来訪者のあと、日曜は役場の食堂も休みなもので、いつもながらおにぎりを持参し出勤。三木田部落排水工事の竣工式の打ち合わせ、十二時現地で神事と始動ボタンを押し、環境改善センターへ一時半。式典、祝宴、一時間程大相撲千秋楽を観て、六時再び三木田公民館の二次会。そこへ川井公民館から連絡があり、川井体協成年女子が全県綱引き大会で優勝して祝賀会をやるから是非ともということ、十キロの道を逆もどり。帰宅してルーブル美術館紹介のテレビを見て十時就寝。

農村集落排水は、県南の由利町に次いで全県二番目。綱引きは全国大会へ出場と決まった。

火が見えなくても 危険です。

各地で死傷者が出る。たましい火災が発生しています。雪におおわれている家庭で、火が発生すると、逃げ場がなく危険です。火の用心をもつ一度点検するとともに、消火栓など消防用水の確保と、避難口を確かめておきましょう。

▽火が見えなくても、煙にまかれると危険です。万一、火災が発生したら、まず逃げることを心がけましょう。



# 青年の夢、婦人の声を 町政に!!

## 第21回青年婦人議会

第二十一回青年婦人議会は二月十一日、役場会議室で開かれました。青年婦人議会では十八名の青年婦人議員を選出。本物の町議会議員の皆さんなどの熱心な視線を受けながら、議会形式で町長等との話し合いが行われました。

### 町内に 小公園づくりを



桜井加代子議員  
(下杉)

一、国営農用地開発はどのように進んでいくのか。  
二、農業後継者をどう育ていくか。  
三、猿倉人形・鎌沢榊細工・駒おどりなど町内文化財の保護

護、継承の政策は？  
四、町民健康広場に小公園を造るため青年たちも参加したい。

答弁一、農用地開発は鷹巣町・森吉町・当町の三町の約千三百畝で仮同意をまとめており、現在約三〇％で同意。同意面積は、事業の最低基準である四百畝を満たしており、同意率の高い地域で着手するための土地交換などが考えられています。将来のことを考えると、たいへん有利に土地条件を整備できるわけで、積極的に参加を求めています。



藤岡ミヤ議員  
(羽立)

### 子どもの 保育の考えは？

一、保育園の今後のあり方をどう考えているか？ 保母の研修体制は充分か？  
二、町内には「いじめ」などはないか。そうした問題にどう対応しているか？  
三、町立診療所の経営状態は？

答弁一、保育園は子どもの成長の基礎を育てるもので、

家庭の責任、園の責任をはっきりさせながら、園児が減る傾向や保母の高年齢化傾向への対応などを考えています。研修は、毎月一回の保育研究会など、熱心に行われています。

二、(教育長答弁) 深刻な事例はありません。学校全体でそうした問題への取り組みが行われていますので、地域活動の中にも協力を呼びかけています。  
三、島山医師の着任以来、利用者が増えており、昭和六十年年度は黒字決算に転ずるものと、見込まれています。

### 合川町の 「夢」を語る

一、合川のイメージを売り出すための歌・小説・映画などを作ってはどうか？

答弁一、二、発想については共感するものが多く「夢」とどまることなく現実となるように努力します。現在、進められている国の調査や、県の構想の中で検討されているものもあり、その実現を切望しています。私は、この町が生活環境的に「東洋一住みやすい町」になれる可能性があると考えており、そうした「夢」を少しずつ実現させていきたいものです。



島山 篤議員  
(木戸石)

二、大野台を体験学習村・クラブの合宿村として活用することや、温泉開発・白津山スキー場・世界一の遊園地づくりなどの夢を実現させてほしい。  
三、青年会員が減る傾向で不安だ。大野台に丸太小屋の青年会館を建設したいので協力を。

四、松ヶ丘団地の分譲と、今後、住宅が建つまでの管理について聞きたい。  
答弁一、一、反歩あたり百万円程度と見られ、国・県補助金は七七・五％。野菜等は、数年間を通した計算で採算を求める経営が一般的で、流通の改善、産直システムとの組み合わせも必要と思います。  
二、大野台の里の木製品が、多方面で好評ですので、一般木工業者でも製造できないか考えています。婦人の手づくり菓子、山菜、りんごなどを「合川産」と標示して、販売できれば特産品として通用すると思います。米以外の農産物「きゅうり・メロン・枝豆」は高い評価を得ています。みがき丸太についても試作しています。  
三、排水施設があると、新しい開発を行う場合も有利な条件になります。今後は鎌沢で六十一・六十二年で実施。集落でまとまった意向があれば検討します。



佐藤 和子議員  
(木戸石)

### 農用地開発の 見通しは？

一、国営農用地開発の工事費ほどの程度か？ 営農経営的な見通しは。  
二、町の特産品を育てる必要がある。  
三、生活排水事業の今後の対策は？

### 青年婦人議会

### 町長の行政報告から



昭和五十九年度から、国の財政引き締め政策が打ち出され、その影響が町財政にもあらわれています。現在、昭和六十年年度決算の見通しをつけ、昭和六十一年度予算の編成期に入っています。地方財政への影響は、ますます大きくなりそうです。たとえば保育園への国の措置費や農林業関係の事業の補助率も一〇％下が

るものがあります。町でお金を借りるに起債の充当率も下がる見込みです。町の

予算は緊縮型にならざるをえませぬ。

こうしたことから、国や県の仕事を積極的に導入する方針で努力してきました。小阿仁川改修事業、三里増沢間の西部農免道路、ため池改良事業などです。このほか高長橋から森吉町鶴田に至る阿仁川筋農免道路

についても要望しています。これらは多額の事業費のほとんどが国・県の負担で、町民の利便さが生まれるとともに、町の活性化にもつ

ながるものです。

もう一つは松ヶ丘団地です。こちらは県市町村土地開発公社から借りたお金で仕事をしますので、赤字になつては困るのですが、分譲は町内より町外の人が多くなっています。魅力のある町づくりをすれば、他の人が住みつく要素があるというところは、町の発展の「可能性」として大切で、大野台の里の福祉施設や、工業団地などとも関連が大きいものです。来月には扶桑精工(株)が操業する予定です。大野台の総合開発については建設省、通産省、林野庁で合同調査が行われています。滞在型レクリエーション

の施設、空港、高速道路と関連道路などの調査が行われているというところで調査結果がまとまり、具体化されるよう期待しています。大きな課題は、学校を卒業した人たちがこの地域で仕事できる環境をつくることです。そのためには職場をふやすことです。特に農業については、これからどうするかという夢を語り合い実現させていく努力を重ねようと呼びかけています。

もう一つ考えてほしいことは生活の見直しです。たとえば、ちよつとした入院でも、見舞いとお返しの手取りを心配する状態です。

交際費のあり方を、どこかで見直ししていきたいものです。それと食生活の見直しですが、老人と子どもが食事の合意を求め合い、健康を考え合い、がまんし合うことが、「いじめ」の克服など、人間づくりにつながるものと大きな運動の広がりを見せています。

身近なこと、家庭のこと、未来のことを考え合い、コツコツと実現させていきたいと思えます。一層の大きな夢を持って、特に青年の皆さんには「自分でやる」という意欲と結びつけて、率直な意見をお願いします。

三、排水施設があると、新しい開発を行う場合も有利な条件になります。今後は鎌沢で六十一・六十二年で実施。集落でまとまった意向があれば検討します。



### 鷹巣 地域開発集會 観光開発を求めて

#### 豊かな自然・課題は施設

鷹巣阿仁広域市町村圏組合(管理者 島山義郎町長)のシンポジウムが一月二十四日、森吉町で開かれました。シンポジウムは昨年に続いて二回目。今回は「観光開発」を主題にして講演と話し合いが行われました。



写真 五百人余りが参加した第二回シンポジウム

#### 必要な高速時代への対応

島山管理者は、あいさつで「同じ地域課題に、同じ考えで努力し合おう」とシンポジウムの目的を説明。「知識だけでなく、着実に実行している」と熱心な話し合いが行われました。

基調講演は建設省東北地方建設局建設専門官賀来宏和氏。賀来氏は現在すすめている米

### 農政講演会 大野台農用地開発めざして

#### 多い成功例・夢の実現を

町農業総合指導センターで一月二十一日、大野台農用地開発農政講演会が開かれました。大野台農用地開発は、鷹巣町、森吉町、当町で国営事業による農業開発をめざすもので、現在、関係者の意向がまとまっています。

#### 農家と行政が一体になつて

講演会は、国・県から講師を招いたもので、関係部落の代表など約八十名が参加。農用地開発の可能性を、真剣に聞き入っていました。

初めに東北農政局雄物川水

写真 農業の未来を求めて熱意に満ちた講演会場

代川流域総合整備計画の中で、観光拠点施設についても調査が行われることを紹介しながら、観光開発の課題を講演。「余暇の増大、健康への関心などから、レクリエーション観光が増える」として「高速交通体系に四季利用型の拠点施設を組み合わせ、計画的な土地利用による開発が必要」と指摘しました。

続いて運輸省新潟運輸局企画部地域整備課長 中村和夫氏、日本観光協会業務部長 奈良繁雄氏、河北新報社秋田総局長 石沢友隆氏、森吉町長 近藤富治郎氏が意見を発表しました。中村氏は「高速道路ができると、観光客の動きは変化し、滞在型の広域観光が求められる。観光開発と地場産業を結びつけて研究を」と問題提起。奈良氏は観光動向の法則性や、観光開発の先

進例を紹介しながら「交通手段や知名度にあわせた開発が大切。観光開発は行政と民間が力を合わせて行うことが必要」と指摘しました。石沢氏は東北観光白書を分析しながら「鷹巣阿仁部は道路網の整備が急務。観光開発は長期にわたって計画を練り、根気よく、熱心に推進を」と呼びかけました。近藤氏は「観光にかける地域の期待は大きい。森吉山スキー場、阿仁川ダム、人造湖などを利用して通年型のリゾート地をめざす」とのべました。

衆議院議員 野呂田芳成氏が「観光地としての魅力を訴えるイメージづくりが大切。森吉山、阿仁川ダム、鷹角線など明るい材料が多く、観光開発にも自信と誇りを持って結果してほしい」とまとめを行いました。

系農業水利調査事務所調査第一課長 平野昭氏が講演。「これからの食糧需給を考えると農用地開発は、ぜひとも必要」としながら、群馬県と福島県での開発成功例を紹介しました。当町と似た条件から、キヤベツ用地を造成した事例と、標高約千坪の土地条件に野菜の輪作を導入した事例では、いずれも所得が大幅に増え、魅力ある農業が生まれたと報告。農家の意欲と、行政、農協が一体となった開発例から「大野台地区は、水も土地も有利な条件があり、期待は大きい」と述べました。

#### 後継者が喜ぶ 農業めざして

続いて北秋田農林事務所長

### お知らせコーナー



西小学校 かまくらづくり

#### 町のこよみ

- 23日 鷹角線着工祝賀パーティー
- 23日 若妻の集い
- 26日 ことぶき大学
- 三 月
- 2日 県民歩くスキーの集い
- 15日 ろばた講座
- 22日 地域づくり研修会

#### 年金 納め忘れていませんか

あなたの六十年年度分(六十年四月分から六十年三月分)の国民年金の保険料は納まっていますか。「ついついっかり」「もう少し後で」ということで納め忘れている場合がよくあります。

納め忘れていたため、万一の事故や病気の場合、さらに歳をとったとき年金を受けられないということになって後悔しても遅いのです。いま一度納め忘れがないかどうかお手元の領収書を確認ください。

**申し込み受け付けます**  
**老人居室資金**  
**身障者住宅資金**  
 申込期間 四月十日まで  
 対象 六十歳以上のお年寄り

**加入ください**  
**交通災害共済**  
**不慮の災害共済**  
 二月一日から、六十一年度分の市町村交通災害共済、不

がある世帯で、お年寄りの部屋の増改築が必要で、自力で行うことが困難な人  
**貸付限度額** 一世帯百万円  
**利率** 年三% 償還 二年以内の据置期間経過後八年以内元利均等半年賦 決定 町老人居室整備資金貸付規制による  
**貸付期日** 昭和六十一年十二月末日まで  
**申込書類** 一、申込用紙(役場福祉課にあります)二、申込書と保証人二人の所得及び資産証明書(役場財政課で発行)三、工事見積書、平面図その他この貸付金は国民年金積立金還元融資金を活用しているものです。心身障害者住宅資金は貸付限度額が百五十万円で、その他の規則は老人居室に準じます。お問い合わせは、役場福祉課におよせください。

**緊急警報放送が行われています**  
 緊急警報放送は災害が発生して避難命令が出た時などにテレビやラジオのスイッチが切れていても、特定の放送が入るしくみです。受信には特別な受信機が必要ですが、テレビ・ラジオにこの機構が内蔵されているものもあります。なお、緊急警報放送はすでお持ちのテレビやラジオでもスイッチが入って見れば見たり聞いたりできるもので、毎月一日午前十一時五十九分から、試験電波による放送が行われています。

**農耕用軽油 免税証交付受付**  
 農耕等に使用する軽油について、軽油引取税免税証の交付申請を次のとおり受け付けます。今回から機械事務処理のため即日交付されません。  
**申請受付** 三月十七日午前十時~午後三時 場所 役場会議室

**新規申請者の必要書類等は、イ、農耕用機械の所有を証する書類(販売業者からの購入証明書等) ロ、耕作面積の証明書(農業委員会の証明) ハ、申請者の印鑑(共同の場合は全員) ニ、県証紙三百五十円の手数料 継続申請者は、前記ロ、ハのほか免税証交付数量が二百より多い場合は、前回購入した免税軽油の納品書または石油販売店からの証明書**  
 ※免税軽油使用者証の有効期限が切れている場合、今年中に切れる場合、農耕用機械に変更ある場合は新規扱い  
 免税証交付は三月二十七日午前十時~十二時、役場で行います。

慮の災害共済の加入申込みを受け付け中です。  
 掛金は、どちらも三百円、共済期間は、四月一日から昭和六十二年三月三十一日まで一年間、ただし、途中加入の方は加入翌日から三月三十一日までです。  
 保障、奨学援助制度など、くわしい内容は各家庭にチラシを配布しますのでご覧下さい。申し込み、問い合わせは役場総務課窓口へお寄せ下さい。



# 雄大な大野台を楽しく歩こう

## 第7回県民歩くスキーの集い

第七回県民歩くスキーの集いは三月二日(日)大野台ハイランドで開かれます。野山を歩いたり走ったり、体力にあわせて冬の自然を満喫しましょう。多くの指導員の皆さんとともに、各種大会で活躍した選手の間も参加して指導にあたります。小中学



生はもちろん、幼児や青年の参加も年々ふえています。日程 九時五十分まで集合 十時三十分、みんなで歩こう・基本指導・ワックス指導・十一時三十分、昼食 十二時三十分、スキーマラソン 十四時三十分、表彰式・閉会式 参加者全員に記念パッチと完走証が贈られます。昼食には豚汁のサービスがあります。



# 川井 パワー満開!!

おめでとう

## 全県優勝

### 綱引き選手権大会

#### 全国大会へ

一月二十六日、秋田市で開かれた第五回秋田県綱引き選手権大会で、川井体協女子チームが優勝しました。同大会には全県から百八十九チームが参加。川井体協チームは合川町大会で男女両チームが優勝し、アベック出場しました。約六千人が応援席をうめた熱気あふれるマンモス大会で、川井体協女子チームは、準々決勝で昨年優勝の琴丘体協に快勝。決勝では昨年準優勝の森吉町浦田婦人部と対戦。三本勝負を二本連勝で見事な優勝を果たしました。川井チームは二月十一日には東京都で開かれた

### ふるさとへのたより

札幌に住んで、もう八年を経過した。昨年は樹温寺の位碑(いはい)堂祝賀会参列のため親族を連れて木戸石を訪れた。久しぶりに会う人々や、児童館の中の少年団の賞状に感激を新たにした。街の道路清掃を始め、火の用心夜廻り、大野台の炊事遠足、兵隊ごっこ、兔追い、ふな釣り、阿仁川の川遊び、神社とお寺のきも試し会等々...少年団長だった幼き頃が懐しく思い

### なつかしい少年団時代

出される。農業を嫌い北海道に渡って国鉄に就職した。秋田弁に苦勞し、徹夜業務はつらかったが、朝早く冷たい田圃に足を入れることを思えばこんな事でも故郷を思いながら努力した。かいあって妻のふる里である余市駅長を最後に退職。今は第二の職場、北海道観光事業に籍をおいている。郷土愛に燃えている人々と

### ろばた講座 スタート

ろばた講座の開講式と第一講座が一月二十五日に開かれました。秋田県立博物館学芸主事 渡部紘一氏が合川町の歴史について講座。熱心な話し合いが行われました。次回は二月二十二日、AB S秋田放送解説委員 石川嘉明氏「十年後の私たちの生活」三月十五日 津谷法律事務所 所長 津谷裕貴氏「暮らしと経済」です。誘い合ってお気軽に参加ください。

### 【おわび・訂正】

広報前号の善意のご寄付・加藤正三 謙沢(故母カツ)が加藤正 工藤準矢 上杉が工藤準夫と誤りがありました。謹んでおわび申し上げます。

また、新春座談会の中に、田げた(足高)とありますが、田げた と 足高 は別のものだったので訂正します。

### 善意のご寄付 (敬称略)

- 〔香典返しにかえて〕
- 桜庭福一 川井(故父福治)
- 田中廣吉 羽根山
- 木村良之助李岱(故妻スケ)
- 成田鉄朗 李岱(故母ヒサ)
- 佐藤長五郎川井(故母ミサ)
- 〔広報郵送料として〕
- 鈴木善信・東京都千代田区外 神田五―四―八 故・父善之助への郵送謝礼として
- 〔図書寄贈〕 合川中学校へ 工藤美代松 東京都江戸川区

### 慶弔だより

1月届

お誕生おめでと争ごいます

- 高橋尚子 八幡岱 俊幸長女
- 関 勝仁 上杉 勝美長男
- 正田真理子 上杉 武志長女
- 小笠原美雪 増沢 聡 長女
- 関 裕子 上杉 浩明長女
- 謹んでおくやみ申し上げます
- 松橋ハル 道城 由五郎母
- 桜田ユキエ 東根田 清蔵母
- 桜庭福治 川井 本人
- 木村スケ 李岱 良之助母
- 成田ヒサ 李岱 本人
- 桜田清蔵 東根田 本人

### 信号機新設のお知らせ

県道、川井鷹巣間の大野台工業団地入口交差点に信号機がつけました。二月十二日から作動しています。

### 交通安全

#### 危険です

#### この場所でこんな事故が ⑪

役場わきから川井方面にぬける県道バイパスの、この場所は制限速度が四十キロ。道路幅が広くなりスピードが出がちです。川井側と役場わきの十字路に信号がありますので、車間距離は短くなりがちです。追突事故が起りやすい場所です。急停車しない用心。されても良い距離。追突事故防止はスピードをおさえて、前方の注意をおこたらないことと、充分な車間距離が大切です。特に雪道は、急ブレーキ、急ハンドルが、思わ



場所 川井字鳥谷沢(県道) 事故 車と車の追突事故

### 桃の花

桃の花と言えば、まず連想するのが三月三日の雛祭り。桃の節句ではないでしょうか。桃の花が咲くのは、東北では桃の節句よりも三カ月ほど後の季節です。昔は旧暦で雛祭りをやっており、その季節の関東、関西が桃の花の季節ということ、暦のずれと地理的なずれから、北国では雪の中で桃の節句になるわけです。そんなわけで、「温室育ち」の桃の花が喜ばれます。桃の枝を切って、四日ほど水につけ、その後五〜十日ぐらい保温して、つぼみを大きくしてから出荷するのだそうで、全国的には埼玉、群馬、福島が桃の花の産地だということです。雛祭りの前日、三月二日は県民歩くスキーの集い。雪景色の中に、近づく春の気配を探りながら、一日を楽しみ合いたいものです。

